

枚方市教育振興基本計画に係る平成30年度の取り組みについて

基本方策1 確かな学びと自立を育む教育の充実

<基本方策1>

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。

中学校区で共通の9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続など、「小中一貫教育」を推進することで、教職員の指導力や学校力の向上を図り、子どもたちの確かな学力と自立を育みます^{①②③}。

また、小学校において本市独自の少人数学級編制を実施し^④、よりきめ細かな指導を実践するとともに、グループ学習^{①②③}やICTの活用等による協働型・双方向型の授業を推進します^⑤。

さらに、諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進し^⑥、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成する^⑦とともに、学校図書館の活用による言語能力の育成^⑧や、労働・職業について学び、自らの生き方を考えるキャリア教育を推進します^⑨。

以上を効果的に進めることを土台として、今後、新しい時代を生きる上で必要な資質・能力を確実に育むため、学習指導要領の改訂を見据え、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学び学習をさらに充実させるなど、子どもたちの「自立」「協働」「創造」する力を育む新しい教育に向けた取り組みを進めます^{①②③}。

<平成30年度の取り組み>

- ① <教育研究費>人件費(小中一貫推進事業)
- ② 基礎学力向上プロジェクト事業経費
- ③ 学校園活性化事業経費

- ④ <教育研究費>人件費(少人数学級充実事業)

- ⑤ 学校ICT機器等整備事業経費

- ⑥ 多文化共生教育研究経費

- ⑦ 英語教育推進事業経費(人件費含む)

- ⑧ 読書活動推進事業経費(人件費含む)

事業名	担当課	概要	予算額 (千円)
① <教育研究費>人件費 (小中一貫推進事業)	教育指導課	・全中学校区に「小中一貫・学力向上推進コーディネーター」を配置する。コーディネーターの円滑な職務の遂行のため、市費負担教員を配置する。 ・児童・生徒の確かな学力の向上に向け、「Hirakata 授業スタンダード」に基づく主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や家庭学習の定着を図る。 ・全国学力・学習状況調査の問題分析・自校採点及び調査結果の比較分析を行うことで教職員の意識を高めるとともに、外部の知見を活用し、指導力向上、授業改善をさらに進める。	46,496
② 基礎学力向上プロジェクト事業経費	教育指導課	・児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上を図るため、全小中学校において放課後自習教室を開室する。同教室には、児童・生徒の学習補助を行う「やる気ングリーダー」を配置する。 ・児童・生徒一人ひとりの理解度に応じてプリント学習ができる自学自習力支援システムを配備し、放課後自習教室をはじめ、授業や家庭学習で活用することで、児童・生徒の自ら学ぼうとする力の育成と基礎・基本の定着を図る。	50,516
③ 学校園活性化事業経	教育指導課	・教員の指導力向上をめざして、全学校園において、各教科・	38,296

	費(人件費含む)		道徳・その他の教育活動における指導内容と指導方法の研究や実践の交流を進め、校内研修会等を実施する。 ・授業改善の取り組みを推進する「研究指定校」を設置し、その取り組み内容を市内の小中学校に発信する。	
④	<教育研究費>人件費(少人数学級充実事業)	教職員課	小学校4年生まで実施している市独自の支援学級在籍児童を含めた1学級35人以下の少人数学級編制を拡充し、支援学級在籍児童を含めた1学級40人以下とする少人数学級編制を5・6年生で実施する。	286,974
⑤	学校ICT機器等整備事業経費(人件費含む)	教育総務課	教員がICT機器を効果的に活用するため、授業づくりや教材作成の支援を行うICT支援員及びICT機器を活用した授業のサポートを行うICTサポート員を配置する。	129,390
⑤	学校ICT機器等整備事業経費(人件費含む)	教育総務課	教員がICT機器を効果的に活用するため、授業づくりや教材作成の支援を行うICT支援員及びICT機器を活用した授業のサポートを行うICTサポート員を配置する。	129,390
⑥	多文化共生教育研究経費	児童生徒支援室	学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図る研究を行う。	216
⑦	英語教育推進事業経費(人件費含む)	教育指導課	・英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、外国人英語教育指導助手(NET)や日本人英語教育指導助手(JTE)を配置し、小中学校の英語教育を推進する。 ・新学習指導要領を見据え、小学校においては英語専科教員を配置するとともにJTEを拡充し、小学校外国語活動の指導体制の充実を図る。中学校においては、英語の4技能に対応した外部検定試験を、全市立中学校第2学年の全生徒を対象に実施し、生徒の英語力を育む。	183,096

基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

<基本方策2>

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

道徳教育・人権教育などを通じて、規範意識を培い公共の精神と自らを律する力を育むとともに、自他の生命や平和を大切にする心を養い、子どもたちが豊かな人間性を身につけるための教育を充実させます^①。

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加など、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、健全な食生活の形成のための食育の推進^②や、食物アレルギーへの対応など安全で安心な学校給食を提供し^③、健やかな体が育まれる環境づくりを推進します^①。

さらに、心身を鍛錬し、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会^④や、自然を生かした野外活動など、体験活動を拡充させる^⑤とともに、部活動の充実を進めます^⑥。このため、外部指導者など多様な社会人の活用を図ります^⑦。

<平成30年度の取り組み>

① 学校園活性化事業経費(人件費含む)
人権教育推進研究経費

④ <文化財保護費>啓発普及経費

⑤ 野外活動センター管理運営経費
社会体育施設利用促進事業経費

⑥ 部活動経費

⑦ 学校支援社会人等指導者活用事業経費

事業名	担当課	概要	予算額 (千円)
① 学校園活性化事業経費(人件費含む)	教育指導課	小学校合同音楽会、漢字をテーマに思いを伝える作文コンクール、菊のひらかた・菊咲かそう体験事業など、教育委員会が主体となる事業を実施し、児童・生徒の活躍の場を設けるとともに、事業の目的に応じた指導の充実を図る。	32,718
人権教育推進研究経費	児童生徒支援室	学校園における人権教育の推進を図る研究を行う。	1,238
② -	学校給食課 教育指導課	第2次枚方市食育推進計画の趣旨を踏まえ、児童の地域産業や食文化への関心と理解を深めていく。	-
③ -	学校給食課	国指針や大阪府のガイドラインを踏まえ、小学校給食における対応の改善等を進めるとともに、中学校給食における対応についても検証を進める。	-
④ <文化財保護費>啓発普及経費	文化財課	文化財説明板の設置や歴史講座、文化財冊子刊行など文化財啓発普及事業を実施する。	1,627
⑤ 野外活動センター管理運営経費	スポーツ振興課	野外活動センターを維持管理し、市民の余暇の活用と青少年の健全育成を図る。	104,051
社会体育施設利用促進事業経費	スポーツ振興課	野外活動を通じて子どもたちの生きる力を育むため、学校利用の促進を図るとともに、自然学習や活動プログラムの拡充を図る。	4,000
⑥ 部活動経費	教育指導課	部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。また、クラブ備品の購入や楽器の修繕に要する経費、大阪府外で行われる全国大会等の遠征費の補助を行う。	30,147
⑦ 学校支援社会人等指導者活用事業経費	教育指導課	優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することにより、教育活動を活性化させる。	4,298
⑧ 読書活動推進事業経費(人件費含む)	教育指導課	子どもたちの読書活動を推進し、授業において課題解決や探究活動に取り組む力を育むため、市内の全中学校区に学校司書を配置する。各中学校区では、司書教諭と学校司書が中心となって、市立図書館と連携しながら、学校図書館の環境整備やビブリオバトル等を通じた読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進する。	56,070

基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

<基本方策3>

本市においては新規採用教職員が増加し、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力など、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

平成26年度からの中核市移行に伴い、大阪府より教職員研修の権限が委譲されました。そのため、『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむをテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム(指導計画)で教職員研修を実施^①し、「経験の浅い教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「小中一貫教育における学力向上に向けた授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り^①、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します^①。

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有す

<平成30年度の取り組み>

① 教職員研修講座等開催経費

② 授業の達人養成事業経費

る教職員を育成するため、授業の達人による研究授業等により、授業改善につなげること^②で、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実します^①。

さらに、学習指導要領の改訂を見据え、授業改善や組織運営の改善にかかる「アクティブ・ラーニング」や「カリキュラム・マネジメント」など新しい教育課題に向けた研修にも取り組みます^①。

事業名	担当課	概要	予算額 (千円)
① 教職員研修講座等開催経費	教育研修課	本市独自で初任者研修・中堅教諭等資質向上研修等を実施し、教員の授業力の向上、授業改善に向けた校内研究・研修の活性化等、本市の教育課題に応じたカリキュラムにより教職員の資質・指導力の向上を図る。	6,157
② 授業の達人養成事業経費	教育研修課	教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教員の育成を図るとともに、各教科等の指導における研究を深め、その成果を市内学校園に広めることをもって、枚方市の子どもたちの確かな学力を育成し、生きる力を育む。	400
学校園活性化事業経費【再掲】	教育指導課	教員の指導力向上を目指して、全学校園において、各教科・道徳・その他の教育活動における指導内容と指導方法の研究や実践の交流を進め、校内研修会等を実施する。併せて、授業改善の取り組みを推進する「研究指定校」を設置し、その取り組み内容を市内の小中学校に普及する。	32,718

基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

<基本方策4>

障害のある子どもをはじめすべての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています^①。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させるとともに、通常の学級においてユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます^②。

また、平成28年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育環境の整備を進める^③とともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組んでいきます^④。

さらに、支援教育コーディネーターを中心として配慮を要する子どもの支援を行うとともに、保護者、支援学校等の関係機関と連携し^⑤、支援が必要なすべての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で支援教育の充実に取り組みます。

<平成30年度の取り組み>

①<小学校費・中学校費>運営経費/セルフワラシレ乗馬体験事業経費

②<教育研究費>人件費・事務経費(支援教育コーディネーター支援充実事業)/支援教育学校園支援事業経費

③<小学校費・中学校費>人件費・運営経費・事務経費(肢体不自由児介助員)/<事務局費>人件費・事務経費<小学校費・中学校費・幼稚園費>運営経費(学校看護師)/<教育研究費>事務経費<小学校費・中学校費>運営経費/階段昇降車経費/通学困難児童・生徒通学等タクシー支援経費

④ 教職員研修講座等開催経費

⑤<教育研究費>人件費・事務経費(支援教育コーディネーター支援充実事業)

事業名	担当課	概要	予算額
-----	-----	----	-----

			(千円)	
①	〈小学校費・中学校費〉 運営経費	児童生徒支援室	<p>肢体不自由児童・生徒の機能回復訓練を行うため理学療法士を学校に派遣するとともに、嚙下が困難な児童に言語聴覚士を派遣し、教職員に指導・助言を行う。</p> <p>言語障害のある幼児に対して専門的な言語訓練や指導及び、保護者との相談活動を行う。</p>	3,916
	セルプわらしべ乗馬 体験事業経費	児童生徒支援室	支援学級在籍の児童が、馬の世話等を通して馬とふれあい、豊かな心の育成をめざし、社会生活のあり方や自己決定の方法を学ぶ。	952
②	〈教育研究費〉人件費・ 事務経費(支援教育コ ーディネーター支援 充実事業)	児童生徒支援室	支援教育コーディネーターが、通常の学級に在籍する配慮が必要な児童・生徒の状況把握に基づき、他の教員への指導・助言及び支援学級における指導の充実を進める。関係機関との連携及び保護者からの相談窓口となる等、学校の支援教育の中心となり支援教育体制の充実を図る。	74,718
②	支援教育学校園支援 事業経費	児童生徒支援室	発達障害等に関する専門的な知識・技能を有する専門家を市立小中学校に派遣し、発達障害等があり教育的支援を必要とする児童・生徒への指導について、教職員に直接指導・助言することで、個に応じた支援・指導の一層の充実を図る。また、支援教育に関する専門的な知識・技能を有する相談員を市内の公私立幼稚園に派遣し、発達障害等があり支援を要する幼児の保護者や教職員に対して指導・助言することで、個に応じた支援・指導の一層の充実を図る。	2,931
③	〈小学校費・中学校費〉 人件費・運営経費(肢 体不自由児介助員)	児童生徒支援室	肢体不自由学級に在籍する介助が必要な児童・生徒が、安心して学校生活を送ることができるよう、肢体不自由児介助員を、必要に応じて当該校に配置する。	73,157
	〈事務局費〉人件費・事 務経費〈小学校費・中 学校費・幼稚園費〉運 営経費(学校看護師)	児童生徒支援室	たんの吸引や経管栄養の注入等医療的ケアの必要な幼児・児童・生徒の安全な学校生活や教育活動を支援するため、学校看護師を当該校園に配置する。	36,250
	〈教育研究費〉事務経 費〈小学校費・中学校 費〉運営経費	児童生徒支援室	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度支援学級に入級する児童・生徒に対する備品購入及び、障害のある児童・生徒に応じた指導・支援の一層の充実を図るため、学校備品の購入に対して補助を行う。 ・配慮を要する児童・生徒に対し、車椅子、FM補聴器・ロジャー、拡大教科書等の貸与を行い、それぞれの障害に応じた指導・支援の充実を図る。 ・通常の学級に在籍する比較的軽度の言語・難聴等の障害のある児童・生徒を対象に障害の状況に応じた指導を通級指導教室で行うため、指導に必要な備品の購入やICT環境の整備を行う。 	4,976
	階段昇降車経費	児童生徒支援室	車椅子で移動の必要な児童・生徒が在籍する学校において、階段の昇降において階段昇降車を必要とする場合に貸与する。	4,304
	通学困難児童・生徒通 学等タクシー支援経 費	児童生徒支援室	病気や肢体不自由等の身体の障害により、通学が著しく困難な児童・生徒の通学等のためのタクシー利用に係る費用を交付することにより、児童・生徒の就学の保障を図る。	2,569
④	教職員研修講座等開 催経費【再掲】	教育研修課	障害者に対する無理解や偏見等を取り除き、障害者の人権が尊重される教育を推進すること、合理的配慮の観点で踏まえた支援教育の充実を図ることが学校園に求められる。これらのことを踏まえ、教職員研修を実施し、理解啓発に努める。	6,157
⑤	〈教育研究費〉人件費・ 事務経費(支援教育コ ーディネーター支援 充実事業) 【再掲】	児童生徒支援室	支援教育コーディネーターが、通常の学級に在籍する配慮が必要な児童・生徒の状況把握に基づき、他の教員への指導・助言及び支援学級における指導の充実を進める。関係機関との連携及び保護者からの相談窓口となる等、学校の支援教育の中心となり支援教育体制の充実を図る。	74,718

基本方策5 幼児教育の充実

〈基本方策5〉

〈平成30年度の取り組み〉

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加など、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多

様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、さまざまな体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取り組みを進める必要があります。

幼児教育の目的は「義務教育及びその後の教育の基礎を培う」ことであり、幼児期（幼稚園・保育所・認定こども園）の教育と児童期（小学校）の教育を円滑に接続・連携し、幼児一人ひとりの望ましい発達を育むとともに学級集団に応じた適切な指導を行います^①。

また、保護者の心身のリフレッシュや短時間就労などのニーズへ対応した預かり保育の実施^②や、地域の未就園児も含め、親子での遊びの場や保護者交流の場の提供、子育て相談の取り組みの推進^③など、保護者支援を充実させます。

① 幼稚園等幼児教育充実事業経費

② 幼稚園保護者支援充実事業経費(預かり保育事業費)(人件費含む)

③ 幼稚園保護者支援充実事業経費(幼児教育教室事業費)(人件費含む)

事業名	担当課	概要	予算額 (千円)
① 幼稚園幼児教育充実事業経費	教育指導課	義務教育への円滑な接続等のため、特色ある様々な幼児教育の取組に、助成を行うことで幼稚園教育の充実を図る。	6,086
② 幼稚園保護者支援充実事業経費(預かり保育事業費)(人件費含む)	教育指導課	幼児の安全・安心な遊び場の確保及び、保護者の心身のリフレッシュや就労等の様々な状況に対応した在園児の保護者支援を行う。	9,941
③ 幼稚園保護者支援充実事業経費(幼児教育教室事業費)(人件費含む)	教育指導課	地域の2・3歳の未就園児親子が安心して遊べる場と保護者同士が交流できる場を提供し、保護者が精神的にゆとりを持ち、安心して子育てできることで、家庭の教育力の向上を図る。	3,975

基本方策6 地域とともにある学校づくりの推進

<基本方策6>

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「地域とともにある学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みやコミュニティスクールなど学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の構築に取り組みます^①。

<平成30年度の取り組み>

① コミュニティ・スクール推進事業経費(人件費含む)

事業名	担当課	概要	予算額 (千円)
① コミュニティ・スクール推進事業経費(人件費含む)	教育指導課	地域住民等の協力を得ながら、小学校において特色のある教育活動を展開していくため、コミュニティ・スクールを順次設置する。	834

基本方策7 学びのセーフティネットの構築

<基本方策7>

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境などさまざまな理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりについては、オートロックや機械警備などによる学校施設内の安全確保^①や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携^②、防犯カメラなどによる通学路の安全対策の強化^③、不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用する^④とともに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子ども自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します^⑤。

安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりについては、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、相談体制を充実させる^⑥とともに、学校においては、生徒指導体制の充実を図り^⑦、いじめの未然防止や早期発見^⑧、不登校児童・生徒への支援に取り組みます^⑨

また、貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援や、児童虐待について、中央子ども家庭センターや子ども総合相談センターなど関係機関との連携を強化します^⑩。

<平成30年度の取り組み>

- ① 学校園警備経費
- ② 交通専従員経費
小学校通学安全事業経費(交通指導員等)
- ④ 学校園メール配信事業経費
- ⑤ 学校防災キャンプ事業経費
- ⑥ 「心の教室相談員」配置事業経費
スクールアドバイザー派遣事業経費
子どもの笑顔を守るコール事業経費
- ⑦ <教育研究費>人件費(生徒指導体制充実事業)
- ⑧ いじめ問題対策事業経費(人件費含む)
- ⑨ 不登校支援協力員配置事業経費
適応指導教室経費(人件費含む)
- ⑩ スクールソーシャルワーカー活用事業経費(人件費含む)
学校問題解決支援事業

事業名	担当課	概要	予算額 (千円)
① 学校園警備経費	教育指導課	小学校の正門の適正な管理と来校者の受付・確認を行うために、全45小学校に設置している監視カメラや校門のオートロック装置と連動したワイヤレスモニター子機付きインターホンの活用に加えて、来校者の多い時間帯や児童の下校時間帯に合わせて人的配置を行う。	136,332
② 交通専従員経費	児童生徒支援室	通学路において交通量が多く、信号機のない危険な道路横断箇所等に交通専従員を配置し、児童の安全確保を図る。	7,057
	小学校通学安全事業経費(交通指導員等)	通学路において交通量が多く、信号機のない危険な道路横断箇所等に交通指導員を配置し、児童の安全確保を図る。	12,135
③ -	児童生徒支援室 教育総務課	通学路の安全確保のための通学路への防犯カメラの設置を危機管理室と連携して進めていく。	-
④ 学校園メール配信事業経費	児童生徒支援室	学校園でのメール配信システムについては、児童の登下校の見守り隊等にも対象を拡げ、不審者の目撃情報や緊急情報等を正確かつ迅速に保護者等へ提供していく。	2,007
⑤ 学校防災キャンプ事業経費	児童生徒支援室	地域社会の一員として非常災害時に的確な対応ができる子どもの育成を図るために、家庭・学校・地域が連携し参加型の防災教育を行うことで、防災に対する意識を高めることや地	336

			域の方々との触れ合いを深める。	
⑥	「心の教室相談員」配置事業経費	児童生徒支援室	小学校における教育相談体制の充実を図り、児童・保護者・教職員の課題等の解決に資する。	7,030
	スクールアドバイザー派遣事業経費	児童生徒支援室	学校園で生じた緊急の課題に対し、幼児・児童・生徒等の心のケア、教職員等に対して助言等を行うため、専門的な知識・経験を有する者を派遣する。	195
	子どもの笑顔守るコール事業経費	児童生徒支援室	学校園の幼児・児童・生徒に係る課題解決のため、学校教育に関わる教育相談を電話で実施する。	1,952
⑦	<教育研究費>人件費(生徒指導体制充実事業)	教職員課	生徒指導充実のために非常勤講師・任期付講師を配置する。	57,010
⑧	いじめ問題対策事業経費(人件費含む)	児童生徒支援室	枚方市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ防止等に係る取り組みを実施する。	2,782
⑨	不登校支援協力員配置事業経費	児童生徒支援室	不登校の兆候が見えた生徒に対してその要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めるとともに、不登校生徒に対して校内適応指導教室などを活用して教育相談や学習支援などを行い、不登校に対する適切な支援を行う。	9,259
	適応指導教室経費(人件費含む)	児童生徒支援室	「枚方市適応指導教室設置要綱」(平成26年枚方市教育委員会要綱第5号)を定め、主として心理的要因で不登校状態にある自動・生徒の自立のための支援と指導を行う。	10,489
⑩	スクールソーシャルワーカー活用事業経費(人件費含む)	児童生徒支援室	いじめ、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題、とりわけ不登校児童・生徒の課題の解決のために、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、幼児・児童・生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行うSSWを派遣・配置し、学校・関係機関等と連携して、ケース会議等、多様な支援方法を用いて対応を図る。	11,813
	学校問題解決支援事業	児童生徒支援室	いじめや問題行動、不登校など、幼児・児童・生徒や保護者、学校園が抱える問題が多様化し、複雑化している。そのさまざまな問題を解決するため、専門的な見地から助言を行い幼児・児童・生徒や保護者、学校園に適切な支援を行う。	3,103

基本方策8 学びを支える教育環境の充実

<基本方策8>

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進など、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取り組みが必要です。

多くの学校施設で建築後相当年数が経過し、老朽化が進んでいることから、学校施設を計画的に更新整備します^①。また、適正な学校規模とする学校配置等の適正化に取り組みます^②。

また、ICT(情報通信技術)を効果的に活用したわかりやすく深まる授業を実現するため、子どもが授業で使うICT機器を計画的に更新するなど教育の情報化を推進します^③。

さらに、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し通知表や指導要録等の事務処理を軽減する^④とともに、より効果的・効率的な学校運営に向けての見直しや、教職員の健康保持など勤務環境の整備に取り組みます^⑤。

安全で安心な給食を安定的に提供する^⑥ため、老朽化が進む小

<平成30年度の取り組み>

① 学校施設整備事業
学校園施設改善事業

③ 学校ICT機器等整備事業経費

④ 校務用ICT機器等管理運営経費/校務の情報化推進事業経費/情報セキュリティ関係経費
⑤ 学校現場における業務改善加速事業経費
教職員出退勤システム保守委託料
教職員生活相談運営経費
教職員メンタルヘルス対策事業経費

⑦ 第三学校給食共同調理場老朽化対策事業経費

学校給食調理場の計画的な更新整備に取り組みます^⑦。

事業名	担当課	概要	予算額 (千円)
① 学校施設整備事業	教育環境整備室	市立小中学校施設の老朽化に対応し、計画的な施設の更新を図るため、「枚方市学校施設整備計画」(第1期実施計画(前期)平成27～32年度)に基づき、学校施設の整備工事(長寿命化改修等)に向けた基本設計及び実施設計並びに工事を行う。	1,746,074
学校園施設改善事業	教育環境整備室	児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう学校園施設の維持・保全及び教育内容に応じた施設の整備等を行うとともに、老朽化したトイレ施設の改修及び機能の充実を図り、良好な学校教育環境の確保。改善を図る。	1,138,677
② 学校規模等適正化事業	教育環境整備室	高陵小学校と中宮北小学校の学校統合に向け、保護者・地域との協議を進めていく。	—
③ 学校ICT機器等整備事業経費【再掲】	教育総務課	子どもたちの主体的・協働的な学びを進め、情報活用能力をさらに育むため、より効果的な教育用ICT機器の整備を推進する。	129,390
④ 校務用ICT機器等管理運営経費	教育総務課	全小中学校に配備した校務用コンピュータの適切な管理運営を行う。	100,320
校務の情報化推進事業経費	教育総務課	校務支援システムを通知表や指導要録、保健に関する帳票等の作成に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図る。	19,629
情報セキュリティ関係経費	教育総務課	学校情報セキュリティポリシーに基づく資産管理及びウイルス対策の要件を実現するため、専用ソフトウェアの利活用による情報セキュリティレベルの維持・向上を行う。	11,966
⑤ 学校現場における業務改善加速事業経費	教職員課	教育委員会と学校事務支援センターとの連携・協力した取り組みや先進地域事例の研究等を通して、学校マネジメント機能強化を図るとともに、業務アシスタント等の配置により学校現場の業務改善を進め、教員が子どもと向き合う時間の確保につなげる。	2,655
教職員出退勤システム保守委託料	教職員課	教職員の出勤、退勤に係る勤務状況の把握を行う。	1,141
教職員生活相談運営経費	教職員課	労働安全衛生法の趣旨に基づき、産業医による長時間勤務の教職員等へ面接による健康相談や指導等を実施することにより健康管理を行う。	100
教職員メンタルヘルス対策事業経費	教職員課	労働安全衛生法の趣旨に基づき、教職員等に対しストレスチェック検査と面接による指導を実施することにより健康管理を行う。	1,000
⑦ 第三学校給食共同調理場老朽化対策事業経費	学校給食課	第三学校給食共同調理場老朽化対策事業の対象の6カ所の単独調理場の改築・長寿命化改修について整備する。	222,088

基本方策9 基礎的な知識・技術の学習機会の提供と図書館の充実

＜基本方策9＞

＜平成30年度の取り組み＞

社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題など、様々な課題に関する学習機会が生涯にわたって提供されることが必要です。

それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます^①。

図書館においては、資料の計画的・系統的な収集など^②の基礎的な図書館サービスを充実するとともに、居心地の良い図書館空間の提供^③と図書館内外への積極的な情報提供などにより、市民の生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための支援を強化します^④。

また、読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館に対する中央図書館の支援を強化する^⑤とともに、子どもの読書活動の推進のための取り組みや、成人の読書習慣と情報活用能力の向上に取り組みます^⑥。

- ① 社会教育主催事業経費
- ② 図書館資料購入経費
- ③ 香里ヶ丘図書館建替事業経費
- ④ 図書館等巡回事業経費
- ⑤ 図書館オンラインシステム運営経費
- ⑥ 子ども読書活動推進経費

事業名	担当課	概要	予算額 (千円)
① 社会教育主催事業経費	社会教育課	人が地域で生活する上で必要となる基礎的な知識や技術等を学ぶ機会を提供する「社会教育基礎講座」等の各種講座や講演会を開催する。	431
② 図書館資料購入経費	中央図書館	知の源泉としての体系的かつ系統的な蔵書、市民の多様な資料要求にこたえられる蔵書、図書館の魅力を増す特色ある蔵書、市民の情報活用を支援する蔵書及び次代に伝える蔵書等を構築するために、計画的な資料収集と適切な蔵書管理を実施する。	69,970
③ 香里ヶ丘図書館建替事業経費	中央図書館	平成 32 年度夏頃の香里ヶ丘図書館の再オープンに向けて整備を進める。	125,800
④ 図書館等巡回事業経費	中央図書館	図書館（中央、分館、分室）間で図書等及び北河内 6 市の集積担当図書館への相互貸借資料等の巡回を業務委託にて行う。	16,676
⑤ 図書館オンラインシステム運営経費	中央図書館	オンラインシステムで市立図書館の蔵書の一元管理を行い、さらに、各学校図書館の蔵書データもオンラインで結ぶことで、市立図書館及び各学校図書館蔵書の有効活用を進め、小中学校における児童・生徒の読書環境の整備及び読書活動の推進を支援する。	33,397
⑥ 子ども読書活動推進経費	中央図書館	第 3 次枚方市子ども読書活動推進計画に基づき、乳幼児から中高生までの読書活動を推進する。	400

基本方策 10 文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりの推進

<基本方策 10>

一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、人生を豊かにすることができるようにするためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。

また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。

さらに、社会の高齢化が進む中で、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確

<平成 30 年度の取り組み>

立することが必要です。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動など、様々な体験ができる機会を確保します^①。

このような機会を提供することで、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備^②に努めます。

また、文化財等の適切な保存を進める^③とともに、特別史跡百済寺跡などの貴重な歴史文化遺産を生かし^④て、子どもたちや市民の郷土の歴史への理解を深める^⑤とともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化観光への活用・発展を進めます^⑥。

また、各種スポーツ・レクリエーション活動の充実^⑦やスポーツ環境の整備に取り組む^⑧とともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組めます^⑨。

- ① 児童の放課後対策事業経費
〈留守家庭児童対策費〉運営経費
社会体育施設利用促進事業経費
- ② 〈文化財保護費〉啓発普及経費
- ③ 文化財保護管理経費
市指定文化財保護事業経費
- ④ 特別史跡百済寺跡再整備事業経費
- ⑤ 副読本等経費(わたしたちのまち枚方)
市史等発行経費
- ⑥ 枚方宿鍵屋資料館管理運営経費
旧田中家鋳物民俗資料館管理運営経費
- ⑦ 市民スポーツカーニバル開催経費
市内高校バレーボール大会開催経費
各種競技大会等事業経費
- ⑧ かり村野跡-池ヶ管理運営経費/伊加賀跡-池ヶ管理運営経費/渚市民体育館管理運営経費/総合跡-池ヶ管理運営経費/春日テニスコート管理運営経費/東部公園野球場管理運営経費/ゲートボール場維持管理経費/淀川河川敷グランド維持管理経費/民間スポーツ施設開放事業経費
- ⑨ 枚方市スポーツ推進計画事業経費

事業名	担当課	概要	予算額 (千円)
① 児童の放課後対策事業経費	社会教育課	全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごすため、本市の実情に即した児童の放課後環境の整備が求められる中、「放課後子ども教室」事業について、モデル事業を実施し、利用者の児童・保護者のニーズの実態や事業の効果、実施に係る課題及び経費の見込等を分析・検証を行い、より効果的で効率的な事業の枠組みの構築を図る。	11,844
〈留守家庭児童対策費〉運営経費	放課後子ども課	保護者の就労や病気等により、保育を必要とする児童に、放課後に適切な遊び及び生活の場を提供し健全な育成を図る。	197,699
社会体育施設利用促進事業経費【再掲】	スポーツ振興課	野外活動を通じて子どもたちの生きる力を育むため、学校利用の促進を図るとともに、自然学習や活動プログラムの拡充を図る。	400
② 〈文化財保護費〉啓発普及経費【再掲】	文化財課	文化財説明板の設置や歴史講座、文化財冊子刊行など文化財啓発普及事業を実施する。	1,627
③ 文化財保護管理経費	文化財課	枚方市域に残された文化財を将来に伝えるべく、適切に保護・保存することを目指す。	39,658
市指定文化財保護事業経費	文化財課	市指定文化財候補を調査し、文化財としての価値を把握する。また、市指定文化財について適切な保存管理を行う。	439
④ 特別史跡百済寺跡再整備事業経費	文化財課	雨水流出抑制対策を含めた抜本的な遺構保存工事を行い、憩いと親しみにあふれ、古代寺院の景観を体感できる史跡公園として再整備を行う。	123,217
⑤ 副読本等経費(わたしたちのまち枚方)	教育指導課	副読本「私たちのまち枚方」は枚方市について具体的な飼料を小学生に提供することにより、社会科の学習において、より効果的な授業の計画実践を図る。	1,800
市史等発行経費	文化財課	枚方市史年報をはじめ、市史に関する刊行物の編集、歴史資料の収集・整理・保存を行い、また、市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えることで、市民の郷土史に対する理解を深め、市民文化の向上を図る。	1,492
⑥ 枚方宿鍵屋資料館管理運営経費	文化財課	枚方宿鍵屋資料館を通じて、江戸時代の枚方宿に生きた人たちの息づかいを感じ、郷土の歴史に対する理解やひらかたのまちへの愛着を深めてもらう。	20,101
旧田中家鋳物民俗資料館管理運営経費	文化財課	枚方に古くから残る鋳物の歴史や民具を活用し、枚方の歴史や人々の暮らしについての認識を深め、郷土愛を育てることを目的とする。	20,169
⑦ 市民スポーツカーニ	スポーツ振興課	市民の皆様に様々なスポーツを気軽に楽しんでいただき生涯	150

	バル開催経費		スポーツの普及を図ることを目的とする。	
	市内高校バレーボール大会開催経費	スポーツ振興課	市民の体力向上、健康増進とスポーツ活動の活性化を図るため、総合体育大会、市内高校バレーボール大会、ラグビーカーニバルを実施する。	50
	各種競技大会等事業経費	スポーツ振興課		38,126
⑧	サプリ村野スポーツセンター管理運営経費	スポーツ振興課	スポーツ施設の維持管理及び運営を行っていく。	9,300
	伊加賀スポーツセンター管理運営経費	スポーツ振興課		72,592
	渚市民体育館管理運営経費	スポーツ振興課		59,050
	総合スポーツセンター管理運営経費	スポーツ振興課		179,765
	春日テニスコート管理運営経費	スポーツ振興課		445
	東部公園野球場管理運営経費	スポーツ振興課		15,074
	ゲートホール場維持管理経費	スポーツ振興課		4
	淀川河川敷グラウンド維持管理経費	スポーツ振興課		4,145
	民間スポーツ施設開放事業経費	スポーツ振興課		企業又はその他法人等がスポーツ活動の場として提供可能とした施設を、締結した協定に基づき開放する。
⑨	枚方市スポーツ推進計画事業経費	スポーツ振興課	策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。	226